

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆公的補助の基準額、301件見直しへ 26年度予算で物価高反映

・政府は公的な支援・給付制度の基準額の見直しを巡り、2026年度予算で301件を見直すことと公表。近年の物価上昇を反映し、交通遺児への給付金などで長年据え置かれていた基準額を引き上げる。自動車事故で保護者を亡くした交通遺児への給付金は45年間、固定金利の公的住宅ローン「フラット35」の融資限度額は21年間据え置かれてきた。

◆自動車整備工と事務職の年収逆転 人手不足でブルーカラー賃金伸びる

・現業に携わるブルーカラー職種の賃金が伸びている。物価の伸び率を上回る職種が目立ち、事務職の年収を追い抜いた職種もある。人手不足が大きく影響したとみられる。現業系でも賃金が公定価格に縛られる医療や教員は伸びが弱く、二極化がみられる。リクルートワークス研究所が厚生労働省の賃金構造基本統計調査を加工しはじく。

◆立体駐車場4300棟、国の認定基準に不適合 屋根の耐火構造

・国土交通省はメーカー11社の機械式立体駐車場計4387棟(調査中を含む)が国の認定基準に適合していないと発表した。屋根の耐火構造が基準と異なり、建築基準法が求める性能を満たさない恐れがある。国交省は詳細な性能調査や必要な改修を進めるよう各社に指示した。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆下水処理、人口減地域は家庭ごとに 自治体判断で切り替えへ法改正案

・国土交通省は人口減少地域の下水道を廃止し、各家庭の浄化槽による個別処理に転換できるようにする。廃止する際の手続きを明確にし、自治体の判断でサービスを縮小することにより下水道経営の持続性を確保する。特別国会に下水道法などの改正案を提出し、2026年内の施行を見込む。

◆薄型テレビ、1月は5%増 冬季オリンピックで大型好調

・電子情報技術産業協会(JEITA)は薄型テレビの出荷台数が前年同月比4.8%増の35万1000台だったと発表。賃上げを背景にした初売り効果や2月に開幕した冬季五輪が販売を押し上げた。60型以上は18.4%増の4万6000台と大きく伸びた。30～39型は8.7%増の7万5000台、40～49型は6.3%増の10万2000台だった。

◆エアコン出荷額、1月は21%増 補助金効果で過去最高

・日本電機工業会(JEMA)は1月のエアコンの出荷額が前年同月比21.3%増の560億円だったと発表。1月単月では過去最高だった。出荷台数も13%増の62万2000台で1月として過去最高を更新した。東京都の省エネ家電購入補助制度「東京ゼロエミポイント」を利用してエアコンを購入する人が多かった。

《 注目商品 》

■DAIKEN、マグネットが使用できる不燃壁材

・軽量で加工性に優れた不燃化粧材にマグネットが使用可能な鋼板基材の壁材を追加。幅910mm、高さ2,730mmの大判サイズにより継ぎ目の少ない仕上がりを実現。天井が高い公共・商業施設などの広い空間にも対応し、意匠性を損なわず省施工が可能。



■パロマ、レンジフード連動機能搭載 テーブルコンログランドシェフ プレミアム

・コンロの点火・消火に連動してレンジフードが自動でオン・オフする「レンジフード連動機能」を、テーブルコンロとして業界で初めて搭載。調理中のレンジフード操作の手間が減り、消し忘れによる電気の無駄使いを削減。天板には ハイパーガラスコートトップを採用。



■アイカ、マグネットが使える高意匠不燃化粧板

・マグネットが使える高意匠不燃化粧板「マグフィーノ」を発売。意匠性・耐久性・施工性に優れたメラミン不燃化粧板にマグネット対応機能を追加。壁面に掲示用マグネット、フックや小棚などのマグネット収納グッズを使うことができる。

